

# 「泉区」について調べる

「泉区」に関する調べ方のガイドです。図書館では、様々なツールから情報を入手できます。

## 調べ方の案内

- ①事典や辞書で調べる ②本で調べる ③雑誌で調べる ④新聞で調べる  
⑤視聴覚資料で調べる ⑥インターネットで調べる ⑦類縁機関の紹介

## キーワードを挙げてみよう

資料検索端末（OPAC）や各種データベースを検索する際に入力するキーワードの例です。

〈主なキーワード〉

泉区 泉ヶ岳 泉中央 根白石 七北田 八乙女 長命ヶ丘 松森 泉市など

## 事典や辞書で調べる

調べたいテーマの意味が不明確な場合は「キーワード」を手がかりに、用語事典などを引いてみましょう。郷土に関する事柄について調べる場合は、市町村史などが役立ちます。

書名	著者・編者等	分類
『宮城県百科事典』 1982年	河北新報社	S031
『日本歴史地名大系 4 宮城県の地名』 1987年	平凡社	R291
『仙台市史 特別編 5・6・7・9』 1998～2014年 ※	仙台市史編纂委員会	S212
『仙台市史 資料編 5・8 近代現代』 1999・2006年	仙台市史編纂委員会	S212
『仙台市史 通史編 8・9 現代』 2011・2013年	仙台市史編纂委員会	S212
『泉市誌 上・下』 1986年	泉市誌編さん委員会	S212
『七北田村誌』 1986年	七北田村誌編纂委員会	S212
『宮城県根白石村史』 1957年	根白石村史編纂委員会	S212
『日本城郭大系 3 山形・宮城・福島』 1981年	新人物往来社	S521

（郷土資料には分類の前に「S」、事典・辞書類には「R」がついています）

※仙台市史 特別編 5 板碑・6 民俗・7 城館・9 地域誌

## 本で調べる

〈仙台市図書館の本を探す〉

●テーマの棚に行って探す

宮城県や仙台市に関連する本を探すときは、まず各コーナーの棚へ行ってみましょう。

〈関連分野の分類〉

S210	郷土の歴史	S291	郷土の地理・名勝	S400	郷土の自然科学
------	-------	------	----------	------	---------

S500	郷土の技術	S600	郷土の産業	S700	郷土の芸術
------	-------	------	-------	------	-------

●資料検索端末（館内 OPAC）で調べる

各図書館にある資料検索端末で、図書館の蔵書を調べることができます。  
資料の状態（在庫・貸出中など）、配架場所、請求記号（背ラベルに表示の分類）などがわかります。

また、図書館のホームページからも蔵書検索ができます。

<https://lib-www.smt.city.sendai.jp>（仙台市図書館ホームページ）

＜図書館で所蔵している関連図書の例＞

書名	著者・编者等	分類
『泉区の歴史探し』 2016年	仙台市博物館	S212
『歩いてみませんか!!「長命ヶ丘とその周辺」』 2002年	長命ヶ丘市民センター 郷土史マップ製作の会	S291
『いずみのふるさと-総集編-』 2020年	泉区まちづくり 推進協議会	S291
『泉の古城浪漫 郷土史講座資料』 2002年	仙台市根白石 市民センター	S291
『仙台・泉の散歩手帖 根白石・七北田の史跡を訪ねて』 1998年	木村 孝文	S291
『伝説伊賀堀跡物語』 2003年	庄司 健治	S291
『はっけん 七北田』 2003年	歴史民俗ボランティア 「七北田探検団」	S291
『ふるさと泉市の自然』 1988年	ふるさと泉市の自然	S291
『いずみの水と緑 続 み~つけた』 2018年	地元学編集委員会	S291
『ぶらっと根白石 ~史跡を訪ねて~』 2000年	根白石探検隊 編集委員会	S291
『住民こそ主人公 泉市存亡のたたかい』 1988年	泉市を守る会	S318
『せんだい地学ハイキング 気分は宝さがし!』 2011年	地学団体研究会 仙台支部	S450
『仙台・川と橋の物語』 1990年	関根 一郎	S515
『泉ヶ岳戦後75年の歩み』 2021年	鳥田 文雄	S689
『泉市の文化財』 1987年	泉市教育委員会	S709

雑誌で調べる

●インターネットを使って雑誌記事・論文を探す

1 「国立国会図書館オンライン」(NDL ONLINE)

<https://ndlonline.ndl.go.jp>

国内で刊行された学術雑誌、紀要を中心に人文科学・社会科学・自然科学の記事情報が検索できます。

2 「CiNii(サイニイ) : NII 論文情報ナビゲータ」

<https://ci.nii.ac.jp> 国内で発行された論文や図書・雑誌などの学術情報が検索できるデータベースサービスです。

<こんな記事・論文が検索できます>

記事・論文情報
【地学ハイキング北から南から みやぎ地学ハイキング「仙台市泉区焼河原の貝化石」報告】安達 正陽 地学教育と科学運動 (81) 2018.11 p88-90
【仙台今昔物語 (泉区水利編)】 鳴海 歩 聖和学園短期大学紀要 53 2016.3 p1-12
【2011年東北地方太平洋沖地震における仙台市泉区の谷埋め盛土造成宅地の被害調査】 森 友宏, 風間 基樹 地盤工学ジャーナル 7 (1) 2012 p163-173
【平成 21 年仙台市泉区高森地区道路等陥没事故報告】 草 治, 菅野 敏夫, 吉田 与一 地盤工学会誌 58 (8) 2010.9 p44-46

新聞で調べる

●原紙／縮刷版

新聞コーナーにあります。縮刷版は現物の新聞をそのまま縮小して冊子体にしたもので、巻頭の索引を使うと関連するテーマの新聞記事が検索できます。

●マイクロフィルム (河北新報)

明治 30 年 1 月分から所蔵しています。(市民図書館 4 階・一部欠号あり)

●新聞記事をデータベースで探す

探しているテーマの新聞記事をテーマ、キーワード、日付等から検索して全文を読むことができます。

<図書館で利用できる新聞記事データベース>

データベース名	収録期間	提供館
河北新報データベース	1991年8月から	全館
日経テレコン《日経4紙》	1975年4月から(一部)	市民・泉・宮城野
朝日新聞クロスサーチ	テキスト検索は1985年から (縮刷版は1945年~1999年)	全館

<こんな新聞記事が検索できます>

記事情報
[泉の里山を守る 根白石／都市化を抑制 自然を残す] 河北新報 2023年6月8日 本紙(夕刊)
[泉 伸びる副都心/増えた人口 一気に高齢化] 河北新報 2018年3月1日 本紙(朝刊)
[流れを見つめて 仙台あの橋この橋/鼻毛橋(泉区小角~実沢) かつてはカニ漁も] 河北新報 1998年2月24日 本紙(朝刊)
[((ぶらり まち語り) 政宗が愛した根白石の地 景色・気候よく、祖母・生母を移住/宮城県] 朝日新聞 2018年8月5日(朝刊)
[上流までサケの遡上、台風の影響か 仙台の高柳川で確認/宮城県] 朝日新聞 2018年08月05日(朝刊)

## 視聴覚資料で調べる

図書だけでなく、ビデオやDVDなどの視聴覚資料も参考になります。

資料名	資料種別
『杜の景観組曲』 仙台市／企画 2005年	限定DVD
『第32回 民俗芸能のつどい』 仙台市教育局文化財課 2019年	DVD
『郷土を開く 福岡大堰くぐり穴用水路』 仙台市小学校教育研究会 視聴覚教育研究部教材製作委員会 2016年	DVD

※限定DVDは、所蔵館でのみ貸出いたします。

## インターネットで調べる

キーワードを参考に、手がかりとなる単語や分野から関連サイトを検索しましょう。

### ●「ジャパンナレッジLib」オンラインデータベースサービス

約50種類の辞書・事典類の横断検索が可能で、地域情報も検索ができます。  
(全館で利用できます)

### ●関連サイトの紹介

#### 1「仙台市ホームページ 泉区ページ」

<https://www.city.sendai.jp/izumiku/index.html>

区役所「泉区」には泉区のお知らせをはじめ、泉区の紹介、泉区の観光・史跡など泉区を知ることのできる情報を見ることができます。

#### 2「オーエンス泉岳自然ふれあい館」 <https://www.shizenfureaikan.jp>

施設の利用の案内の他に泉ヶ岳の楽しみ方や情報を見ることができます。

#### 3「泉かむりの里観光協会」 <https://izumi-kamuri.jp>

泉区西部地区の観光情報を見ることができます。

#### 4「宮城県図書館 叡智の杜Web」(宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録)

<http://www.library.pref.miyagi.jp/eichi/eichi-kyodo.html>

## 類縁機関の紹介

### ●仙台市博物館 <https://www.city.sendai.jp/museum>

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)

TEL: 022-225-3074

### ●仙台市歴史民俗資料館 <http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~rekimin>

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪一丁目3-7(榴岡公園内)

TEL: 022-295-3956 FAX: 022-257-6401

### ☆ 困ったとき・資料が見つからないときは

読みたい本が見つからないときや、機械の操作が分からないときなどは、  
どうぞお気軽にカウンターの職員にお声がけください。